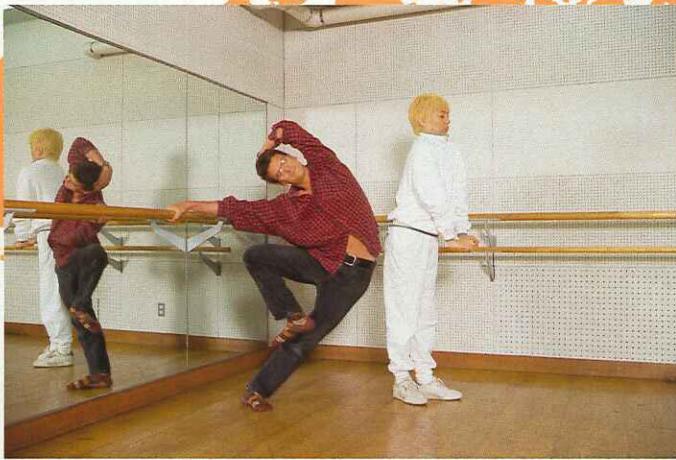


今日は何をしようかな

IMPACT!



ドウクフレ氏はサーカスの修業もしたという柔軟な身体の持主。沢田はトレーニングを決意した。

童話『一〇〇万回生きたねこ』は佐野洋子作、一九七七年の初版からすでに五八版、約六〇万部を売っている名作だ。

冒險を重ね自由に生きる猫のドラ、ひどい目にあって死んでもまた生き返り、強く楽しく暮らし続ける不死身のドラ。その彼が美しい白猫に恋をして……。子供たちだけでなく、大人の心にも訴えてくるドラ猫の物語は、ミュージカルの素材としてもうつづけで、長らくその舞台化をもくろんでいたプロデューサーの存在も当然と言える。

その人、金森美弥子さんは'92年のアルベルビル冬季オリンピックの開・閉会式を見て以来あの演出家フィリップ・ドウクフレのような人がこれを手がけたら面白いに違いない、と考えていたという。その後、神奈川芸術フェスティバルや、三の機会があつてドウクフレ氏に直接の交渉を始める。彼は慎重で、なかなか「ウイ」とは言わなか

ったが、衣裳デザイナー内藤昌也に引き合わせたあたりから気が動き始めたようだ。

「内藤さんとドウクフレさん、表現の方法が合う、と思ったんです。私がそう思ったといふことで彼、信用してくれたみたいでした。音楽の照屋林賢さんはドウクフレさんのほうからの希望で決定しました。ほかに何人のアーチストを紹介して、その結果です。彼はりんげんバンドの音楽や林賢さんの仕事を、ワールドミュージックの一環として捉えているようで、私もそこが面白いと思って……」

基本プランがまとまつてから上演までの間に、さまざまなことがあつた。マスコミ発表と打合せのためにドウクフレ氏が最初に来日したのは、一月上旬。主演に決定した沢田研二との初対面もこのときだった。ふたりはすでに『DORA』一〇〇万回生きたねこ』にどっぷりと漬かり込んだ精神状態にあつたが、

フィリップ・ドウクフレ：1961年パリ生まれ。若手クリエイティブ集団DCAを率いる気鋭の演出家。'89年のフランス革命200周年記念パレードの演出振付で注目を浴び、'92年のアルベルビル冬季五輪開会式・閉会式の演出で世界的な評価を得た。

沢田研二：グループサウンズ全盛の一時代を築いたスターたちの中でもジュリーこと沢田研二の人気は凄かった。今は年に1枚のCDリリースとコンサートを中心に、余裕ある大人の仕事ぶり。今回のステージには特に意欲を燃やしている。



「ゴルフなんかしない、ジムにも行かない。でも身体は丈夫、ノラ猫とも仲よですよ」と沢田。
◀「回転とか大車輪、得意じゃないけど」「大丈夫、本能的に動けばいいんだ」稽古開始！

ミュージカル『DORA』一〇〇万回生きたねこ』

一〇〇万回生きたねこ』を演じるのは沢田研二、グループサウンズ

時代から三十年、さまざま

タイプの活動を続け、不死身のスター

であり続ける彼に、不死身の猫は似合いの役。フィリップ・ドウク

フレの演出・振付も世界の注目。

File

アメリカン・バレエ・シアター

フェリ、アナニアシヴィリ、マラー・ホフ、ボッカ――四大スターの豪華な競演。人気急上昇のアン・ヘル・コレ

ラ、パロマ・ヘレーラ、ホセ・カレー・ニヨなど若手の活躍も楽しみだ。ガラ公演はABTならではの演技が魅力。

●『マノン』^{7/26} 東京文化会館『ジゼル』^{7/26} 神奈川県民ホール、^{7/27} よこすか芸術劇場『白鳥の湖』^{7/26} NHKホール『ABTガラ』^{7/26} 東京文化会館料金／S席￥18,000(東京)※大阪他の公演あり

●『ジャバーン・アーツ』^{8/3(34)999} 『ドン・キホーテ』^{8/17(3)} 東京文化会館『ジゼル』^{8/18(3)} 神奈川県民ホール、^{8/19(3)} よこすか芸術劇場『白鳥の湖』^{8/18(3)} NHKホール『ABTガラ』^{8/19(3)} 東京文化会館料金／S席￥18,000(東京)※大阪他の公演あり

●『ドン・キホーテ』^{8/17(3)} 東京文化会館『ジゼル』^{8/18(3)} 神奈川県民ホール、^{8/19(3)} よこすか芸術劇場『白鳥の湖』^{8/18(3)} NHKホール『ABTガラ』^{8/19(3)} 東京文化会館料金／S席￥18,000(東京)※大阪他の公演あり

キーロフ・バレエ

今回はルジマートフが大半の公演に出演。しばらくロシアを離れていたキーロフの名花アスィルムラーツワをはじめ、トップ・ブリマのマハーリナ、人気沸騰の一九歳ブリマ、ヴィシニョーワ、初来日の新星ロバート・キナなど、華やかなバレリーナたちとの共演が注目される。

●『ドン・キホーテ』^{7/17(3)} 東京文化会館『ジゼル』^{7/18(3)} 神奈川県民ホール、^{7/19(3)} よこすか芸術劇場『白鳥の湖』^{7/18(3)} NHKホール『ABTガラ』^{7/19(3)} 東京文化会館料金／S席￥16,000・￥14,000

●『ドン・キホーテ』^{7/17(3)} 東京文化会館『ジゼル』^{7/18(3)} 神奈川県民ホール、^{7/19(3)} よこすか芸術劇場『白鳥の湖』^{7/18(3)} NHKホール『ABTガラ』^{7/19(3)} 東京文化会館料金／S席￥16,000・￥14,000

●『ドン・キホーテ』^{7/17(3)} 東京文化会館『ジゼル』^{7/18(3)} 神奈川県民ホール、^{7/19(3)} よこすか芸術劇場『白鳥の湖』^{7/18(3)} NHKホール『ABTガラ』^{7/19(3)} 東京文化会館料金／S席￥16,000・￥14,000

ルグリと輝ける仲間たち

パリ・オペラ座・バレエのエトワール、マニュエル・ルグリが率いるガラ公演。ルディエール、ル・リッシュ、アルボの三人のエトワールほか、ルテステュ、マルティネス、O・デュボン……など抜群の人気と実力を誇る若手スターが出演する。古典やバランス、ローラン・ブティなど、パリ・オペラ座の高度なテクニックとエスプレシオが堪能できる多彩なプログラム。なかでもノイマイヤー振付の『春と秋』は、ルグリのために創られた作品だ。

●『A・プロ』^{8/1(3)} 新宿文化センター

(B・プロ) ^{8/1(3)} 新宿文化センター

料金／S席￥14,000・※大阪、神奈川県民ホール

(C・プロ) ^{8/1(3)} 新宿文化センター

料金／S席￥14,000・愛知他の公演あり

●『日本舞台芸術振興会』^{8/3(3)} 新宿文化センター

料金／S席￥14,000・※大阪、神奈川県民ホール

エトワール候補のアニエス・ルテステュとジョゼ・マルティネスはベスト・カップル。

